カリキュラム

コースコード：24-403　　中小企業大学校　九州校

タイトル	**中小企業のDX導入支援の進め方**				
サブタイトル	「事業環境の変化」に迅速に適応するために必要な支援能力を身につける				
研修のねらい	中小企業・小規模事業者の将来的なDX導入、デジタル化を推進するためには、IT・AI・IoT等のデジタル技術活用支援の基本を理解し、業務プロセスの改善、売上拡大の両面において「デジタル化、DX化」を支援することが必要となります。 本研修では、デジタル化、DX化支援の必要性を理解し、デジタル化、DX化支援に必要な知識、手法について事例や演習を通じて具体的に学びます。				
日程	2024年7月23日（火）～25日（木）	日数	3 日	時間数	18 時間
対象者	①中小企業支援担当者並びに中小企業支援協力機関の役員及び職員（中堅担当者または職務経験５年程度以上の方） ②認定支援機関	定員	24 名	受講料	23,000 円
		会場	中小企業大学校　九州校		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
7/23 (火)	9:50 ～ 10:00	**開講式**	オリエンテーション	
	10:00 ～ 12:30	**ビッグデータの活用 ～地域の現状を知る「地域経済動向分析システム（RESAS）」～**	・経済動向分析システム（RESAS）の概要 ・活用事例 ・分析手法 ・演習（現状分析、課題抽出、課題解決）	九州経済産業局 地域経済部　地域経済課 吉山　英也
	13:30 ～ 17:00	**デジタル化の現状とDX経営のススメ**	・中小企業のデジタル化、DX化の現状と課題 ・デジタル技術の最新動向 ・事例研究 ・国・自治体の支援施策の活用	ブリッジソリューションズ 株式会社 代表取締役 阿部　満
7/24 (水)	10:00 ～ 12:30	**情報セキュリティ対策**	・企業の情報漏えいはこうして起こる ・最近の不正アクセスの手口と傾向 ・情報セキュリティ対策の取り組みのポイント ・プライバシーマーク、ISMSについて	
	13:30 ～ 17:00	**DX導入支援の進め方（演習）**	モデル企業のDX戦略を策定するプロセスを演習を通じて体験し、DX導入のステップを習得するとともに、顧客の目標から現状把握・課題抽出後にIT・DXツールを利活用して課題解決を支援するノウハウを身につけていただきます。 １．DX実行計画書策定方法概要 ２．目標策定 ３．現状把握・課題抽出 ４．課題解決策策定 ５．DX実行計画書発表と総括	
7/25 (木)	10:00 ～ 12:30			
	13:30 ～ 17:00			
	17:00 ～ 17:10	**終講式**		

講師紹介

氏名	略歴
阿部　満 （あべ　みつる） ブリッジソリューションズ株式会社 代表取締役	富士ゼロックスIT関連企業にて、日本最大のネットワーク・セキュリティー業界のマーケティング関連に従事。個人およびパートナー支援で販売実績が認められ数々の賞を受賞。その後、京セラ関連IT企業にて、事業開発部長、経営企画部長、コンサルティング部長に従事。ITコーディネータ協会職員を経て40歳で現社を創業。創業以降、企業アドバイストータル1000社以上、IT導入支援100社。その内、経済産業省IT経営力大賞認定8社、優秀賞2社受賞支援。各政府系、商工三団体、民間企業研修講師など全国で活動。 著書としてITコーディネータ協会認定教材図書「IT経営可視化戦略（産業能率大学出版部）」「IT経営実践の知識（同友館）」「AI×IoTで会社を強くする方法（Amazon）」「ITで経営課題を解決する方法（Amazon）」新聞、専門誌へのコラム等を含め執筆多数。一般社団法人AI・IoT普及推進協会代表理事兼事務局長、一般社団法人ITC-EXPERT代表理事。

備考

※中小企業診断士資格更新研修　理論１回
※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。